

西原一丁目公園トイレ



外観

西原一丁目公園トイレは、京王線幡ヶ谷駅のほど近くに立地。公園は、京王線の地下化に伴い、その跡地にある細長い形状で、周辺には住宅が多く、近隣住民の歩道としての役割も兼ねている。



外観(空撮)

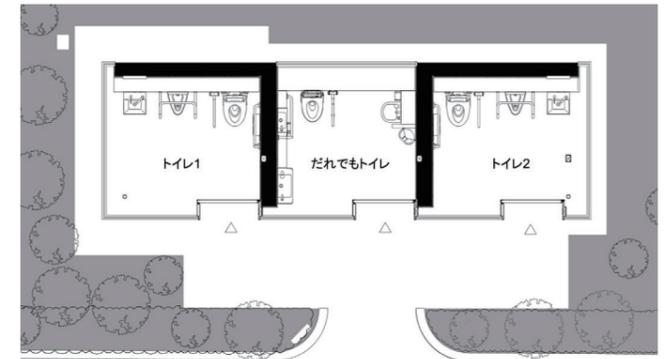
トイレだけでなく、周囲の植栽や前面の歩道も整備し、従前の薄暗く、近寄りづらい印象を一新。トイレの入口前はスペースが広く確保され、車いすやベビーカーなどでもアプローチがしやすい。



外観(夜景)

日中には内側からしか見えないガラスにプリントされた樹木のシルエットが、夜間は壁面に映し出される。トイレが「行燈」のように公園を明るく照らし、利用者に安心感をもたらす。

図面



外観(夜景)

自動スライド式ドアを開けて、外からトイレ内を見る。白で統一されたブース内は、照明により、明るく温かみのある空間となる。外観と同様にブース内も昼夜で異なる印象を与える。



トイレ1(男女共用)

2辺をガラス壁とした男女共用トイレは、大便器、小便器、洗面器を設けた個室完結型。すべての衛生器具は、床の清掃性に優れた壁掛式を採用。また利用者の快適性に配慮して、大便器にウォシュレットを設置している。



トイレ2(男女共用)

器具の配置はトイレ1と対称、便器と手すりの関係も左右勝手となり、利用者は使いやすいほうを選べる。すべてのトイレの扉は自動スライド式ドアで、音声が開閉ボタンの操作案内をしてくれる。



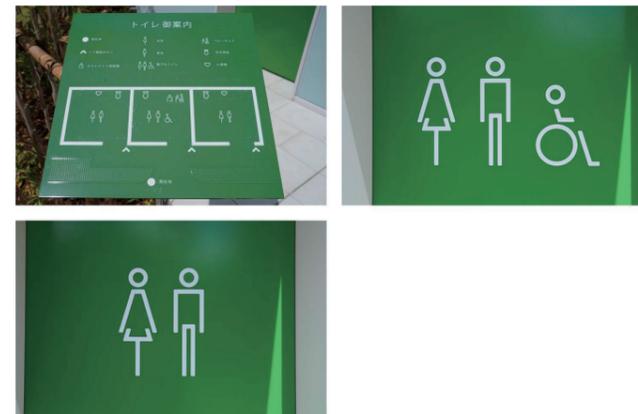
だれでもトイレ

中央のだれでもトイレにも樹木のシルエットをプリントしたガラスを通して、柔らかい光がブースを満たす。車いす利用者やオストメイト、乳幼児連れなど、さまざまな利用者に配慮したスペースを確保。



だれでもトイレ

オストメイト配慮として、コンパクトオストメイトパックを設置。また乳幼児連れ配慮として、ベビーチェアを設置している。



案内板・ピクトグラム

案内板でトイレの配置を確認できるようにしている。また、各空間の入口には、THE TOKYO TOILET(ザトウキョウトイレット)プロジェクト共通のピクトグラムを設置。

水まわりの特長

建物の特徴

日本財団が実施する、THE TOKYO TOILET(ザトウキョウトイレット)はだれもが快適に使用できる公共トイレを設置するプロジェクト。そのひとつである西原一丁目公園トイレは、京王線幡ヶ谷駅のほど近くに立地。公園は、京王線の地下化に伴い、その跡地にある細長い形状で、周辺には住宅が多く、近隣住民の歩道としての役割も兼ねている。トイレは、従前の薄暗く近寄りづらい印象を一新。公園全体のイメージ向上を図り、明るく開放的で、だれもが快適に、平等に使える、「利用したいと思う」トイレを創出。樹木のシルエットをプリントしたガラス張りの建物は、昼間はガラスを通して柔らかい光がブースを満たし、夜はトイレが「行燈」のように公園を明るく照らして、利用者に安心感をもたらす。

水まわりの特長

トイレは中央にだれでもトイレ、両端に男女共用トイレの3つの空間で構成され、プロジェクトのコンセプトに基づいてトイレの在り方自体、すべてのトイレを男女共用のユニバーサル仕様としている。だれでもトイレは、車いす利用者やオストメイトなど、さまざまな利用者への配慮器具を完備。2辺をガラス壁とした男女共用トイレは、大便器、小便器、洗面器を設置した個室完結型トイレとなっている。両端のブースは器具配置が対称、便器と手すりの関係も左右勝手となり、利用者は使いやすいほうを選べる。衛生器具は、床の清掃性に優れた壁掛式を採用。また利用者の快適性に配慮し、すべての大便器にウォシュレットを設置。洗面器の水栓は節水タイプで、蛇口に触れず衛生的に手洗いができる自動水栓を設置。

建築概要

名称	西原一丁目公園トイレ
所在地	東京都渋谷区西原1-29-1
施主	日本財団
設計	株式会社坂倉建築研究所
設計・施工	大和ハウス工業株式会社
竣工年月	2020年8月
建築面積	21.45㎡
延床面積	21.45㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上1階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3CSI
 ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUPR
 マイクロ波センサー壁掛小便器セット:XPU21A/壁掛洗面器:LS721
 台付自動水栓:TENA12AW/水石けん入れ:TLK0520J
 コンパクトオストメイトパック:UAS81RSB2NW/ベビーチェア:YKA16R